

【広島市消費者物価指数】

1 平成 25 年 2 月の動向

- 広島市総合指数（98.8）は前月比で同水準。前年同月比は 9 か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（98.9）は前月比で 4 か月ぶりに上昇。前年同月比は 10 か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.6）は前月比で 10 か月ぶりに上昇。前年同月比は 18 か月連続の下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	98.8	0.0	▲1.4
生鮮食品を除く総合指数	98.9	0.2	▲1.0
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	97.6	0.2	▲1.7

3 前月からの動き

～被服及び履物は上昇、食料は下落。～

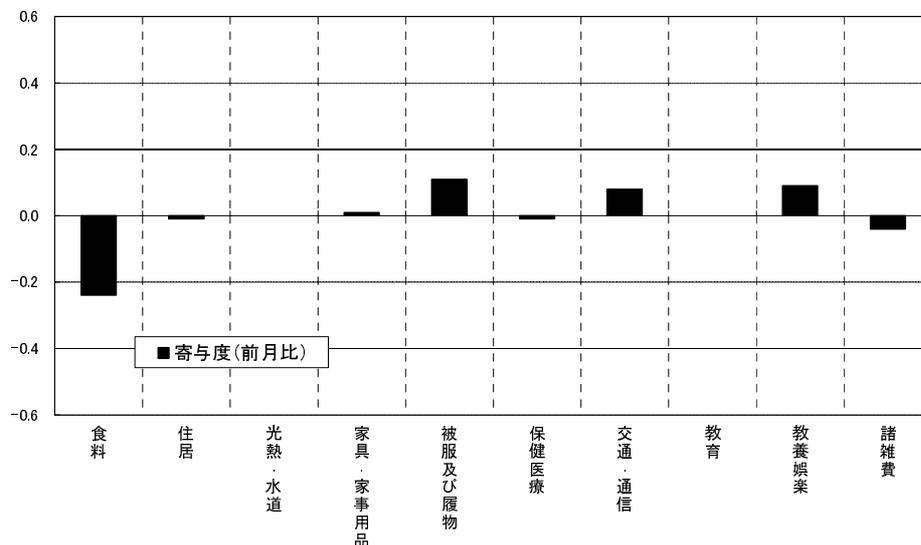
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	98.8	99.0	99.1	105.4	92.0	97.2	98.4	101.5	98.4	91.8	102.8
前月比 (%)	0.0	▲ 0.9	0.0	0.0	0.4	2.5	▲ 0.3	0.5	0.0	0.8	▲ 0.6
寄与度	0.0	▲ 0.24	▲ 0.01	0.00	0.01	0.11	▲ 0.01	0.08	0.00	0.09	▲ 0.04

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

被服及び履物：洋 服（前月比 5.9%，寄与度 0.10）等
食 料：野 菜 ・ 海 藻（前月比 ▲ 5.3%，寄与度 ▲0.15）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
教養娯楽用耐久財 (電子辞書 等)	9.4%	野菜・海藻 (えのきだけ 等)	▲5.3%
洋服 (婦人スラックス [冬物] 等)	5.9%	教養娯楽用品 (トレーニングパンツ 等)	▲2.7%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	1.0%	果物 (いちご 等)	▲3.4%
他の光熱 (灯油 等)	5.2%	理美容用品 (電気かみそり 等)	▲2.2%
家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	1.5%	肉類 (ソーセージ 等)	▲1.1%

4 前年同月からの動き

～交通・通信は上昇, 食料, 教養娯楽, 家具・家事用品は下落。～

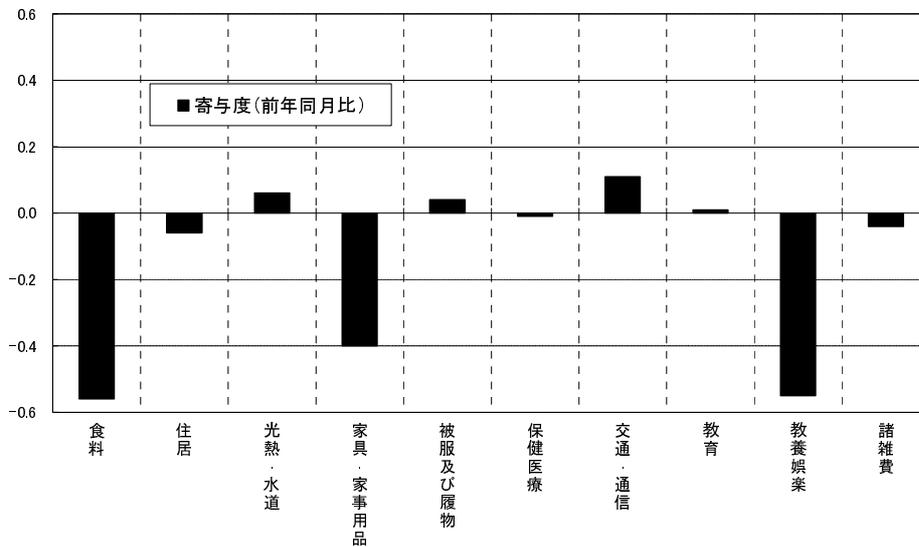
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 1.4	▲ 2.2	▲ 0.3	0.7	▲ 9.8	1.0	▲ 0.3	0.8	0.2	▲ 5.0	▲ 0.6
寄与度	▲ 1.4	▲ 0.56	▲ 0.06	0.06	▲ 0.40	0.04	▲ 0.01	0.11	0.01	▲ 0.55	▲ 0.04

(参考) 主な要因となっている10大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

- 交通・通信:自動車等関係費 (前年同月比 2.8%, 寄与度 0.20) 等
- 食料:野菜・海藻 (前年同月比 ▲11.5%, 寄与度 ▲0.33) 等
- 教養娯楽:教養娯楽用耐久財 (前年同月比 ▲18.1%, 寄与度 ▲0.34) 等
- 家具・家事用品:家庭用耐久財 (前年同月比 ▲20.8%, 寄与度 ▲0.34) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費 (ガソリン 等)	2.8%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲20.8%
洋服 (婦人スラックス [冬物] 等)	2.3%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲18.1%
他の光熱 (灯油 等)	13.5%	野菜・海藻 (ねぎ 等)	▲11.5%
シャツ・セーター類 (婦人セーター [長袖] 等)	4.4%	教養娯楽用品 (トレーニングパンツ 等)	▲6.3%
設備・修繕維持 (ルームエアコン取付け料 等)	1.6%	通信 (携帯電話機 等)	▲3.0%